



平成 21 年 1 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社セブン&アイ・ホールディングス
代表者名 代表取締役社長 村田 紀敏
(コード番号 3382 東証第一部)
問合せ先責任者 取締役 氏家 忠彦
(TEL. 03-6238-3000)

子会社 (株式会社セブンカルチャーネットワーク) 設立のお知らせ

当社の完全子会社である株式会社セブン&アイ・ネットメディア、株式会社セブン-イレブン・ジャパン、株式会社イトーヨーカ堂、株式会社ミレニアムリテイリング 4 社の共同出資により、株式会社セブンカルチャーネットワークを設立いたしますのでお知らせいたします。尚、当社はグループ会社である(株)イトーヨーカ堂、(株)西武百貨店より、文化教室事業を会社分割により引継ぎ、両社が今まで築き上げてきた事業の拡充を図り、さらにグループシナジーを追求してまいります。

記

1. 設立の目的

当社は、多様なお客様ニーズにお応えする「新・総合生活産業」を目指し、コンビニエンスストア、総合スーパー、百貨店、食品スーパー、フードサービス、金融サービス、IT/サービスを主要事業領域と定め事業展開しております。(株)セブンカルチャーネットワークは、「モノからコトへ」という言葉に表されるように構造的な変化を見せる消費の新しい潮流に対応し、既存の店舗ネットワークやこれまで蓄積してきたノウハウ等の経営資源を活用しながら、新しい事業領域を開発・展開していく機能を担います。

まずは、今後拡大するシニアマーケットをターゲットとし、「仲間作り (集い)」と「生活の豊かさ実現」をコンセプトに、「学び (カルチャー)」& 「体験 (旅行)」事業を推進してまいります。

2. 事業内容と展開スケジュール

- 2009 年 1 月 15 日 <株式会社セブンカルチャーネットワーク設立>
- 2009 年 3 月 1 日 <(株)イトーヨーカ堂コミュニティアリーナ事業、(株)西武百貨店池袋コミュニティ・カレッジ 事業を承継>
- 2009 年 3 月以降 <既存事業 (文化教室) の強化>
 - ・池袋コミュニティ・カレッジ事業とコミュニティアリーナ事業のノウハウの共有
- 2009 年秋以降 <旅行事業スタート>
 - ・そごう、西武百貨店で、お客様向け旅行販売を開始
 - ・体験型イベント企画を開発し、セブン-イレブン店舗にて販売を開始
- 2010 年春以降 <旅行事業本格進出>
 - ・文化教室事業と旅行事業を融合した複合型売場を開発
イトーヨーカドー及びそごう、西武百貨店にて展開スタート
 - ・セブン-イレブン店舗にて、予約受付・販売を開始

3. 会社概要

- ・商 号 株式会社セブンカルチャーネットワーク
- ・所在地 東京都千代田区二番町 8 番地 8
- ・代表取締役社長 青木 繁忠 (現 株式会社イトーヨーカ堂取締役)
- ・設立予定日 平成 21 年 1 月 15 日
- ・資本金 450 百万円
- ・出資比率
 - 株式会社セブン&アイ・ネットメディア 70%
 - 株式会社セブン-イレブン・ジャパン 10%
 - 株式会社イトーヨーカ堂 10%
 - 株式会社ミレニアムリテイリング 10%

参考：承継する文化教室事業の概要

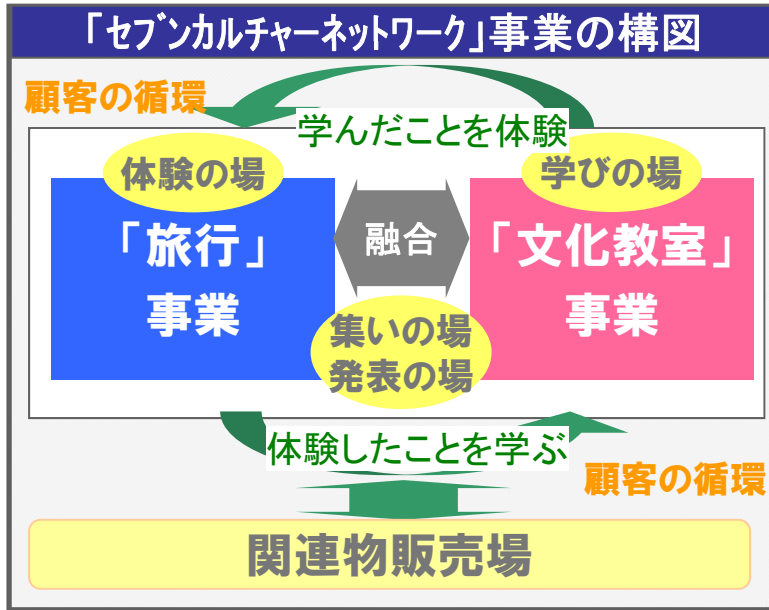
事業会社	拠点	名称	講座数	年間総受講者数	内容
西武百貨店	1	池袋コミュニティ・カレッジ	1,250	約 5 万人	33 教室 + テニススクール等
イトーヨーカ堂	18	コミュニティアリーナ	2,750	約 15 万人	趣味の講座 (テニススクール等)

以上

●グループ資産を活用し、「旅行ビジネス」と「文化教室ビジネス」を融合させた新たな事業を展開

目的

- 団塊世代及びシニア層へ向け「集い・学び・体験」を通じた「仲間づくり」と「生活の豊かさ」の実現を応援
- 新規事業としての狙いに加え、地域店舗の核顧客づくり及び関連売場への買い回り促進を図る



※店舗数は08年12月末時点

「セブン&アイ・ネットメディア」会社概要

商号	株式会社セブン&アイ・ネットメディア
設立	2008年7月11日
資本金	3.25億円
株主	セブン&アイ・ホールディングス 100%
代表者	後藤克弘



【IT分野】

商号	セブアンドワイ㈱
設立	1999年8月24日
資本金	4億3,875万円
代表者	鈴木康弘

商号	㈱セブンドリーム・ドットコム
設立	2000年2月1日
資本金	50億円
代表者	鎌田 靖

商号	㈱日テレ7
設立	2007年12月3日
資本金	4,8億円
代表者	三浦 姫

【サービス】

商号	㈱セブンカルチャーネットワーク
設立	2009年1月15日
資本金	4,5億円
代表者	青木繁忠

インターネットを活用した書籍、CD・DVDなどのネット通販事業

ネットサービスの運営サポートやチケット/各種サービス提供による店舗とITの融合

テレビやインターネット等のメディアと小売の融合により新しい販売チャネルを創造

グループ店舗ネットワーク網を活用し様々なサービスを提供「学び」と「体験(旅行)」の融合